

## TOPIC① 第35回SCCJセミナー開催!



講演後の熱心なフリーディスカッション

「感性からのものづくりー感性の基礎から計測そしてものづくりの実際ー」  
【2010年2月17日@大阪国際交流センター 参加者260名】

技術的には捉えにくい「感性」をテーマとした本セミナーですが、大勢の方々が足をお運び下さいました。また、講演後のフリーディスカッションでは、講演で使用したスライドの掲示を前に参加者からの質問へお答え頂く等、講師の方々と議論を交わし活気あふれるセミナーとなりました。セミナー参加者の皆様からは「判り易く充実した内容で、大変有意義な時間となった」等、嬉しい感想が寄せられました。

- 講演①【高級感のある化粧品とはー感性価値と感動デザイン工学ー】 金沢工業大学 神宮英夫先生  
②【心身反応計測による快適性(ストレス)評価】 信州大学大学院 上條正義先生  
③【感性を切り口にした消費者意識と化粧品のトレンド】 エフシージー総合研究所 菅沼薫氏  
④【感性価値を追求した化粧品パッケージのデザイン開発】 カネボウ化粧品 井田厚氏  
⑤【毛髪ダメージ実感及びツヤ質感に関する感性研究】 資生堂 川副智行氏  
⑥【スキンケア製品の使用感における心地よさと高級感】 コーセー 妹尾正巳氏  
⑦【嗅覚に訴える製品づくり～製品開発における裏に隠れた香りの力～】 ライオン 松川浩氏  
⑧【開発者の「味」づくりをどうやってお客様の価値につなげるか】 サントリーホールディング 永井元氏

## TOPIC②

### 東京支部主催「研究会」 “分散技術の基本を学ぶ”

【2009年9月29日(第25回), 11月26日(第26回)  
@化成品会館(六本木) 参加者延べ100名】

昨年度の「基本に返って乳化技術を学ぶ」に引き続き、今年度は「分散技術の基本を学ぶ」として、化粧品の基礎的技術をテーマとしました。業界をリードして、第一線でご活躍の先生方の講演後には、グループディスカッションを行いました。日頃疑問に思っていることや困っていることなど、フランクに話し合うことができました。その後、軽食を頂きながら参加者や先生方との交流を深めました。



会場風景

- 分散の基礎技術・理論 中林 治郎氏 (コーセー)  
分散技術の応用①(パウダリーFD) 西村 博睦氏 (ポーラ)  
②(乳化FD) 青島 正佳氏 (花王)  
③(口紅) 半山 敦士氏 (カネボウ化粧品)  
④(マスカラ) 井手 信之氏 (資生堂)

## TOPIC③

### 大阪支部主催「勉強会 ワークショップ」 “女性のハートをつかむ化粧品特性、有用性評価について”

【2009年9月3日 @薬業年金会館(谷町)参加者67名】

最新の化粧品技術の発展に伴って、一般消費者に化粧品の効果、有用性や成分の働きを理解してもらうことが難しくなっています。今回、メディアや女性雑誌などで、商品の正しい使い方や使う人の心に響く評価方法に取り組んでいるエフシージー総合研究所の菅沼薫氏にお話をいただきました。

第一部 講演「化粧品性能評価の方法論」  
ー使う人に響く評価方法ー

第二部 グループワークショップ  
第三部 グループ別アイデア発表会

各グループは初対面の参加者で構成されたにもかかわらず、活発なアイデア提案や討論がされ、ユニークな商品評価法が発表されました。菅沼氏からは、それぞれの発表に対して総評をいただきました。

グループ代表によるアイデア発表風景



## TOPIC④

### IFSCC アルゼンチン大会 9月に開催!!

国際化粧品技術者連盟(IFSCC)の国際大会、26th IFSCC Congress 2010が、来る9月20～23日アルゼンチンの首都ブエノスアイレスでの開催されます。世界各国から多くの化粧品技術者が集まり、連日、熱いディスカッションが繰り上げられます。日本からも多くの参加が期待されています。

詳しくはSCCJのホームページ(<http://www.sccj-ifsc.com>)のトップページより「26th IFSCC2010参加ツアー」をご覧ください。

## SCCJに集まれ! 会長 西山聖二



化粧品基礎講習会を受講される皆様方は入社間もない、あるいは化粧品技術に携わるようになって間もない方が多いと思います。化粧品は多くの分野の技術を結集したものであり、一人前の技術者に成長していくためには、これから多くの事を学んで行かねばなりません。技術者会は化粧品技術を一举に学ぶことが出来る唯一の学会です。若手向けの勉強会から最新の研究発表まで多くの学びの機会が用意されています。SCCJの特徴はこれらの行事を全て会員自らが企画運営している点です。多くの諸先輩方より話を聴いたり、直接話し合うことが可能な場です。SCCJの各種行事へ積極的な参加をお待ちしています。

## SCCJ（日本化粧品技術者会）とは？

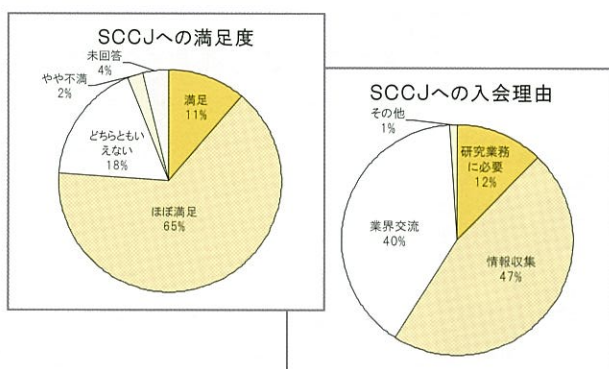
SCCJ(The Society of Cosmetic Chemists of Japan)の活動目的は、「化粧品及び関連の科学技術の進歩向上に貢献すると共に、会員相互の交流と啓発を図るための事業を行い、内外の化粧品発展に寄与すること」です。会員は現在約1,500名。年に2回の研究発表討論会やセミナー、研究会、見学会をはじめ、支部独自の活動も盛んです。学会誌も年間4回発行され、2年に1度掲載された論文の中から優秀論文が表彰されます。

### 世界No.1の学術レベルを誇る

SCCJに入会すると、世界の化粧品科学者が集まる国際化粧品技術者連盟(IFSCC)(会員数:約15,000名)の会員としても登録されます。SCCJの会員数を見ると、アメリカに次いで2位。会員数と科学貢献度により算出されるIFSCCランキングでは、フランス、アメリカと並んで1位です。IFSCCが開催する国際的な学術会議(IFSCC大会)に、多くのSCCJ会員が研究発表を行い、これまでに連続して最優秀論文(AWARD)を受賞しています。隔年に行なわれるアジア地区化粧品技術者大会(ASCS)等において、SCCJは運営や研究発表などリーダーシップを発揮しています。

### 会員の満足度は高い! アンケート調査結果からみる会員意識

2007年に東京支部で実施した会員アンケートでは、回答頂いた会員の約80%が技術者会の活動全般について、満足、ほぼ満足と回答。また、入会理由については、「研究に必要である」、「情報収集」の他、「業界交流」を入会の理由とする人も多く、業界交流、技術者間のコミュニケーションの良さも本会の特徴です。




### IFSCC加盟国 国別会員数 (上位10ヶ国 2009年12月現在)

1. USA	3,522人
2. Japan	1,540
3. France	1,440
4. Brazil	920
5. Great Britain	856
6. Germany	737
7. Spain	726
8. Argentina	615
9. Korea	521
10. South Africa	394

### 学会HPリニューアル! 内容充実!

昨年5月に全面リニューアル。ページ数を大幅に増やし、コンテンツの充実を図りました。学会催事のスケジュールをはじめ、関連学会や団体の情報や、開催後のレポートなどをタイムリーに情報提供。会員だけでなく、一般の方にも本会の活動を理解して頂けます。HPを上手に活用して頂き、是非、学会や業界の動向・情報収集にお役立てください。

URLはこちら  <http://www.sccj-ifsc.com>

### 会員の特徵

化粧品関連産業に関わる技術者が主な会員です。会員が所属している企業は、化粧品製造メーカー、OEMメーカー、原料・香料メーカー、容器・包装製造メーカー、機械製造メーカーをはじめ、なんと約750社にも及んでいます。また、大学関係者や個人会員もいます。

### 入会・問い合わせは学会HPまたは下記の事務局まで

日本化粧品技術者会 事務局 ☒ info@sccj-ifsc.com  
TEL:045-590-6025 FAX:045-590-6093



日本化粧品技術者会  
The Society of Cosmetic Chemists of Japan

SCCJ Press vol.1 (創刊号)

発行元: 日本化粧品技術者会 広報委員会